

キャプテンズ・ミッション  
**2007年度下期 CHQ業務目標**

**CHQ 業務全般**

キャプテンズ・ミッション各テーマの各種活動の実施、都道府県協会のサポート、ミーティングや視察による都道府県協会とのコミュニケーションを通じての新たな課題抽出、等の基本的姿勢を守り、その中でも下記の項目には特に重点を置き、サッカーファミリー拡大に向けて明るく取り組んでいく。

- 都道府県チャートおよび都道府県協会収支状況の2007年度版を発行する。
- 業務プラン2010を作成・発行する。
- 2008～2010年度の各種支援制度の詳細を決定し、また2007年度決算および2008年度補助金額決定を確実に実施する。
- 2007年度に予定されている都道府県内の活動のサポートと、精力的な視察による課題の発見を行う。
- 都道府県協会組織の活性化のための、基本還元金の更なる改善に努める。
- 「JFAグリーンプロジェクト」各種啓発活動を実施する。
- スポーツマネジャー養成のための、都道府県サテライト講座を立案・実施する。
- キッズから4種・3種・女子の繋がりのもとでの選手育成ための施策を立案する。
- 2・3種年代の年間・能力別リーグ戦実施に向けて、都道府県協会のサポート活動を実施する。
- CHQタスクフォースの全国での状況を把握し、今後の方針を決定する。
- 都道府県フットボールセンター整備助成における交付要望書申請に対する正確な審査・認定を行う。
- 現在ある「ミッションチーム」の存続について検討し、方針を決定する。

**M 1：「JFAメンバーシップ制度」の推進**

- サッカーファミリーのコンセプトに基づき「ファン登録」のビジョンを整理し、Webサイトの活用、チケット販売との連動、情報提供の充実等に関する具体的なプランの素案を作成する。
- サッカーファミリーとして位置付けが可能なカテゴリー毎に、カウント方法を整理する。
- 「JFAコミュニティ」を充実させるとともに、「リニューアル1周年記念キャンペーン」を実施し、「JFAコミュニティ」登録者を3万人以上に増やす。
- 「情報戦略プロジェクト」と連携しながらJFA関連情報を整理し、各登録カテゴリーへの情報提供体制を検討する。

**M 2：「JFAグリーンプロジェクト」の推進**

- 「ポット苗の芝生トライアルキット」の展開の準備を進め、来年度からの具体的な展開に繋げる。
- 各種媒体を通じて、天然芝の普及に関する将来像を掲げ、多くの人々とその共有に努める。
- 天然芝の維持管理に関する情報を収集・整理し、ガイドブック作成に着手する。
- スポンサーパッケージをまとめ、スポンサー確保に向けた取り組みに着手する。
- 都道府県フットボールセンター整備推進事業に関する理念や整備運営手法の紹介等を明示したリーフレットを作成し、展開する。

## M 3 : 「JFA キッズプログラム」の推進

---

- 2008 年度支援制度募集により提出される企画提案書フォーマットのデータ共有化を進め、各都道府県協会の情報を全体で比較・共有できる様な仕組みを提案し、発展させる。
- キッズ担当責任者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。
- Jリーグアカデミー・4種関連の各種会議を通じて、Jクラブ・4種担当者と「JFA キッズプログラム」の現状および方向性を共有し、アンケート等を通じてキッズ年代に対する意見を集約する。

## M 4 : 中学生年代の活性化

---

- 「トライアル FA」の活動視察等を通じて関係者とのコミュニケーション機会を増やし、2008 年度以降の中期的な具体的施策に対する重点取り組み事項の抽出、更には都道府県が直面している課題に対する解決策を考察する。
- 「トライアル FA」や支援制度が昨年度末で終了し今年度自主運営にて実施している都道府県の活動調査を行い、様々な活動を JFANews や Forum 等を利用し、関係者との情報共有を図る。

## M 5 : エリート養成システムの確立

---

- 2008 年度支援制度募集により提出される企画提案書フォーマットのデータ共有化を進め、各都道府県協会の情報を全体で比較・共有できる様な仕組みを提案し、発展させる。
- キッズエリート担当責任者を対象としたジョイントミーティングを開催、新たな課題を抽出し、問題解決に努める。また、情報共有・ネットワーク構築を図る。
- 各都道府県内のトレセンとキッズ年代のエリート教育が連携する様な体制作りが検討される様に働きかける。

## M 6 : 女子サッカーの活性化

---

- キッズプログラムに参加した女子がスムーズに受け入れられる様、諸施策について検討する。
- 「トライアル FA」の活動視察を行うとともに、好事例を展開し、都道府県協会等の活動をサポートする。

## M 7 : フットサルの普及推進

---

- 「トライアル FA」のファミリーフットサルリーグをモデルケースとして事例展開し、市町村協会等で活動が推進される様、努める。
- フットサルの体育館利用に関して、体育施設向け機関誌「月刊体育施設」への継続掲載に努め、施設管理者の理解が図られる様、努める。
- 「トライアル FA 制度」の対象 FA を中心に活動の模範となる好事例を展開し、都道府県協会等の活動をサポートする。

## M 8 : リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

---

- CHQ 都道府県協会ミーティングをはじめとする各種会議において収集した、各都道府県における「2・3 種年代の年間・能力別リーグ戦」の課題に対する解決策の抽出を行う。
- 「JFA 試合運営ガイドブック」・「競技ガイドライン」を参考にしながら、「2・3 種年代の年間・能力別リーグ戦」のためのガイドライン作りに着手する。

## M 9 : 地域／都道府県協会の活性化

---

- CHQ タスクフォースの各都道府県協会担当者によるジョイントミーティングを開催し、好事例の紹介や情報共有に努める。
- 都道府県協会における地区／支部協会・市区郡町村協会との連結決算について、積極的な取り組みを実施している事例を調査し、各都道府県協会に展開、情報共有に努める。
- シニア年代の活性化において、活動機会の創出やシニア年代の積極的な登用を実施する都道府県の積極的な取り組みの事例を調査し、都道府県協会の関係者と情報共有に努める。
- M1.「JFA メンバーシップ制度」の「サッカーファミリーのコンセプト」と連動し、「グラスルーツ活動」と「地域／都道府県協会の活性化」が如何に結びついているのか情報を収集し、都道府県協会との好事例の共有に努める。

## M10 : 中長期展望に立った方針策定と提言

---

- 「JFA2005 年宣言」の浸透／PR ツールについて、活用ガイドラインを整理し、より効果的に各種ツールが利用される様に働きかける。
- 都道府県協会によって策定された独自の目標設定を好事例として展開し、「JFA2005 年宣言」の浸透を図る。
- 「CHQ フューチャープロジェクト」、「CHQ タスクフォースメンバー」に関する中長期的な指針を抽出する。

## M11 : スポーツマネジメントの強化

---

- SMC 本講座を確実に運営していく。
- E-learning 講座のあり方の検討を行う。
- 「JFA スポーツマネジャーズカレッジ」が掲げる将来像やスポーツマネジメントを学ぶ意義等を広く社会に共有するための広報活動を実施する。特に、SMC 専用の情報発信媒体の具体的な展開に繋げる。
- 次年度以降のスポンサーのあり方の検討を行う。

以上